

# 枚方市立幼稚園の運営・配置実施計画

平成 24 年 2 月

枚方市教育委員会



## はじめに

枚方市教育委員会は、平成 20 年 10 月 31 日に枚方市幼児教育ビジョン検討委員会へ「枚方市幼児教育ビジョン策定について」を諮問し、計 7 回にわたって活発なご審議をいただく中で、平成 21 年 5 月 20 日に答申を受けました。さらに、その答申に基づき、6 月 30 日に「枚方市幼児教育ビジョン」を策定しました。

「枚方市幼児教育ビジョン」では、

### 1. 幼稚園教育の充実

幼稚園における教育は、「幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うもの」（幼稚園教育要領 総則）であることが基本です。

最も重視すべきことは、安定した情緒の下で遊びを通して発達の課題に即した指導を行うことです。小学校教育において行う教科学習とは違う自発的な活動としての遊びを中心とした生活を通して、「生きる力」の基礎をはぐくんでいくことが重要です。

### 2. 子育て支援の充実

厳しい経済状況や保護者の就労形態、また核家族化やライフスタイルの多様化など、子育てを取りまく環境や条件が大きく変化している中で、子育て支援のより一層の充実が求められています。

「生きる力」の基礎を培う幼児教育の充実をめざすためにも、子育てに対する保護者の不安を取り除き、子育ての喜びが感じられるよう、幼稚園の施設や機能を活用した子育て支援策を充実させていく必要があります。

### 3. 公立幼稚園等の効果的・効率的な運営及び配置

幼児期に「生きる力」の基礎をしっかりと育てるためには、幼稚園での教育、家庭・地域での教育、そして、それを支えるための子育て支援体制の充実が重要です。そこで、本市の公立幼稚園を効果的・効率的に運営及び配置することで、これらの充実をめざします。

以上の 3 点を基本方向としています。

この基本方向を踏まえ、本市の幼児教育について、枚方市立幼稚園の効果的・効率的な運営及び配置検討委員会及び幹事会で、具体的に検討を重ねてまいりました。保育所（園）も含めた就学前教育の重要性が増している中で、本市のより一層の幼児教育の充実を図るためには、市立幼稚園において新たな取組や充実策を実施するとともに、幼児教育のセンター的な役割を担っていくことが大切です。また、現在 11 園ある市立幼稚園の、効果的・効率的な配置を行い、配置園の体制を強化し、幼児教育の充実を実現させていく必要があります。

そのことに伴う対応策をはじめ、幼稚園施設の活用等についても検討を重ね、平成 27 年 4 月 1 日の実施をめどとして、ここに「枚方市立幼稚園の運営・配置実施計画」をまとめました。

# 目 次

<b>1. 枚方市立幼稚園の役割と効果的・効率的な運営について</b> .....	<b>1</b>
(1) 公立の幼稚園としての枚方市立幼稚園の3つの役割と取組の方向性 .....	1
(2) 枚方市立幼稚園の新たな取組と充実策 .....	2
<b>2. 枚方市立幼稚園の効果的・効率的な配置について</b> .....	<b>3</b>
(1) 配置方針 .....	3
(2) エリアにおける配置基準 .....	3
(3) 配置案 .....	3
(4) 実施時期 .....	3
<b>3. 効果的・効率的な配置に伴う通園に係る対応策について</b> .....	<b>4</b>
<b>4. 閉園幼稚園施設の活用について</b> .....	<b>4</b>
<b>資料</b> .....	<b>7</b>
<b>1. 枚方市立幼稚園の状況</b> .....	<b>8</b>
(1) これまでの経緯 .....	8
(2) 施設状況 .....	8
<b>2. 枚方市内幼稚園・保育所（園）の位置</b> .....	<b>9</b>
<b>3. 枚方市幼児数</b> .....	<b>10</b>
(1) 市内幼児数及び幼稚園・保育所（園）における就園児数の状況 .....	10
(2) 枚方市立幼稚園の過去5年間ににおける在園児数等の推移（エリア別） .....	10
(3) 枚方市エリア別幼児（4・5歳児）幼稚園・保育所（園）定員と年度別幼児人口の推移 ....	10
(4) 歳児別定員の状況及び平均在園児数 .....	11
(5) 各市立幼稚園の入園児数の推移 .....	12

## 1. 枚方市立幼稚園の役割と効果的・効率的な運営について

枚方市立幼稚園の役割は、「枚方市幼児教育ビジョン」に示しているように、公立の幼稚園として幼稚園教育要領の改訂に伴う教育内容の研究を行いながら、その研究成果と課題を明らかにすることで、本市の幼児教育全般のより一層の充実を図ること、そして、障害のある子どもや配慮を要する子どもに対する支援教育の充実を図るとともに、幼児教育のセンター的な役割を充実することです。

今後は、市内を北部・中部・南部・東部の4つの地域に分けた各エリアにおいて、それらの役割を十分に果たせるよう、効果的・効率的な運営に取り組んでいきます。また、こうした取組については、積極的に市民に情報発信していきます。

### (1) 公立の幼稚園としての枚方市立幼稚園の3つの役割と取組の方向性

#### ①保幼小連携による幼児教育の研究実践及び情報発信

##### ～小学校へのなめらかな接続をめざして～

幼稚園の最も大きな役割は、幼児の自発的な活動としての遊びを「心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習」とする幼稚園教育要領（文部科学省）に則った教育を行っていくことであると考えています。特に、本市の市立幼稚園の最大の特徴である小学校との近接した位置関係を生かし、各エリアの小学校の教職員と連携しながら、発達や学びの連続性を踏まえた研究実践を行い、その研究成果と課題を市内の私立幼稚園や保育所（園）に広く情報発信していくことにより、保幼小のネットワークの中心として機能することが必要です。あわせて、家庭と連携し、基本的な生活習慣の形成に向けた実践を行うことで、本市の幼児教育の充実を図るとともに、小学校へのなめらかな接続をめざします。

#### ②支援教育の推進

##### ～障害のある子どもや配慮を要する子どもへの支援教育の充実をめざして～

枚方市における「ともに学び、ともに育つ」教育の推進を基本とし、障害のある子どもや配慮を要する子どもについて、個別の指導計画を作成し、個に応じた指導内容や指導方法を工夫し、実践していきます。また、支援教育の連続性を確かなものにするため、個別の教育支援計画を作成及び活用し、保護者・専門機関・医療機関等との連携を図るとともに、小学校へのなめらかな接続をめざしていきます。

さらに、障害のある子どもの保護者支援のあり方や教職員・保護者向けの研修会・講演会の開催、小学校との実践交流等について、各エリアの私立幼稚園や保育所（園）と連携を深め、支援教育をより充実したものへと進めていきます。

#### ③地域における幼児教育のセンター

##### ～幼児教育に関する保護者支援の充実をめざして～

「枚方市幼児教育ビジョン」においても示しているように、「生きる力」の基礎を培う幼児教育の充実をめざすためには、子育てに対する保護者の不安を取り除き、子育ての喜びが感じられるよう、幼稚園の施設や機能を活用した支援策を充実させていく必要があります。そこで、市立幼稚園においてもその施設や機能を生かし、幼児教育のセンター的な役割を果たすため、未就園児の保護者も含めて、幼児期の教育に関する相談に応じたり、子育てに関する情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を設けるなど、各エリアにおける地域の幼稚園として、保護者が行う幼児教育を支援していきます。また、市の家庭児童相談所や保健センター等の関係部署、または大阪府中央子ども家庭センター等の関係諸機関と連携を強化し、多様な相談内容に対応できるような仕組みを構築していきます。

## (2) 枚方市立幼稚園の新たな取組と充実策

公立の幼稚園としての3つの役割を果たすために、以下のような新たな取組と充実策を実施するとともに、効果的・効率的な運営を図ります。

### ①大学等研究機関と連携した研究体制の構築

より充実した研究実践を展開していくために、幼稚園の体制整備を図り、大学等の研究機関と連携するなど、効果的な研究体制を構築し、保幼小連携や支援教育の充実、発達を踏まえた幼児教育の研究に取り組みます。

また、そこで得た成果を広く発信するために、「枚方市幼児教育ビジョン」にも示しているとおり、各エリアの私立幼稚園や保育所（園）、小学校と連携を深め、研修会等を実施していきます。

### ②「(仮称) 支援教育相談事業」の実施

障害のある子どもや配慮を要する子どもについて保護者や教職員からの相談を受け、具体的な支援の方法等について助言するために、(仮称)支援教育相談員が各市立幼稚園を週1回程度訪問する巡回相談を実施します。また、必要に応じて、関係諸機関と連携するなど、支援教育のさらなる充実を図ります。

### ③幼児教育に関する保護者支援の充実

#### i) 「(仮称) 預かり保育事業」の実施（在園児対象）

保護者が子育ての喜びを感じ、笑顔でわが子に接することができるように幼稚園の施設と機能を活用した支援の一つとして、預かり保育を、1日2時間半で、週4日実施します。保護者の心身のリフレッシュや短時間就労等の様々な事情に対応するとともに、幼児の安全で安心な遊び場として、適切な教育的配慮のもとで家庭的な雰囲気大切に、幼児が落ち着いて過ごせるようにします。

#### ii) 「(仮称) 幼児教育教室事業」の実施（未就園児親子対象）

市立幼稚園が各エリアにおける幼児教育のセンター的な役割を果たすために、未就園児とその保護者を対象にした(仮称)幼児教育教室を、1日1時間半で、週2日開催します。

その中で、幼稚園に入園する前の主に2～3歳の幼児が、幼児期を健やかに過ごせるように、幼稚園の施設設備を活用して親子で楽しく遊べる場を提供します。また、保護者には幼児への関わり方や遊び方などを紹介し、家庭の教育力の向上をめざします。

現在、各園で取り組んでいる未就園児親子教室よりも実施回数を増加するとともに、幼児がのびのびと活動できるように内容を充実させ、各園の状況に応じて、幼稚園施設の改修や遊具の充実も図り、孤立しがちな未就園児親子が安心して遊べ、交流できる場所を提供します。

### <実施時期>

これらの新たな取組と充実策①②については、枚方市立幼稚園の新たな配置の実施時期にあわせて平成27年度から実施します。また、③については、早期に幼児教育に関する保護者支援の充実を図るため、前年度の平成26年度から実施します。

なお、幼稚園施設の改修や遊具の充実については、状況に応じて順次行っていきます。

## 2. 枚方市立幼稚園の効果的・効率的な配置について

### (1) 配置方針

枚方市内の4つのエリアについて、恒常的または顕著な定員割れが生じており、かつ、将来的にも幼児数が幼稚園・保育所(園)の合計定員を下回ると予想されるエリアにあつては、配置の見直しを行い、市立幼稚園の配置を少子化に対応したものとします。

### (2) エリアにおける配置基準

- ①学校や私立幼稚園、保育所(園)との連携を図り、公立の幼稚園として幼児教育のセンター的な役割を果たす観点から、少なくとも各エリアに1園配置します。
- ②歳児別の定員が、70名である園を配置園とします。
- ③平成15年度から23年度までの平均在園児数が優位である園を配置園とします。

### (3) 配置案

配置方針・エリアにおける配置基準に基づいた具体的な配置については下記のとおりです。

エリア	配置する園	閉園する園
北部	樟葉幼稚園	樟葉南幼稚園 殿山第二幼稚園
中部	高陵幼稚園	桜丘幼稚園
東部	田口山幼稚園	津田幼稚園
南部	枚方幼稚園 香里幼稚園 蹉跎幼稚園 蹉跎西幼稚園	—

配置園の定員の変更は行わないため、定員数計910人、学級数計26学級となります。

### (4) 実施時期

枚方市立幼稚園の新たな配置は、平成27年4月から実施します。閉園に伴う経過措置として、閉園する園においては、平成25年秋の4歳児募集は実施せず、平成26年度は5歳児のみの就園とします。

### 3. 効果的・効率的な配置に伴う通園に係る対応策について

遠方からの市立幼稚園への通園を可能にするため、通園用自家用車の駐車場や駐輪場の整備について各園の状況等を考慮しながら検討し、実現可能な園については整備を行っていきます。

### 4. 閉園幼稚園施設の活用について

現在、本市の就学前児童については、年々減少傾向にありますが、保育所への入所希望者は年々増加しており、特に1、2歳児の保育需要が増加しています。そのため、平成21年度から3年連続、年度当初から待機児童が発生しており、保育所の待機児童解消は喫緊の課題となっています。

また、留守家庭児童会室においては、学校によって入室希望数や障害のある5・6年生の受け入れに伴い、児童会室の確保についての課題もあります。

このような状況を踏まえて、今回閉園となる幼稚園施設については、これらの課題を解決するため、実施時期や手法など、具体的な活用策を今後検討して、有効に活用していきます。

なお、それぞれの課題が解消した場合には、売却も視野に入れて検討します。

## おわりに

「枚方市幼児教育ビジョン」策定の背景には、近年の少子高齢化、核家族化、都市化、情報化、経済状況の悪化などの大きな社会の変化があり、子どもや子育てをめぐる様々な問題が指摘されるようになったこと、また、教育関係法令の改正により、幼児教育が生涯を支えていく「生きる力」の基礎を培う重要なものであることが明確化され、これまで以上に、幼児教育が重要視されるようになったことがあります。さらに、「小一プロブレム」の問題が指摘され、子どもの発達や学びは連続しているにもかかわらず、遊びを通して学習する幼児期の教育活動から、教科学習が中心の小学校教育へのなめらかな接続についての課題があります。

本実施計画は、「枚方市幼児教育ビジョン」の趣旨を踏まえ、枚方市立幼稚園を効果的・効率的に運営及び配置することをめざし策定しました。このことにより、枚方市立幼稚園が、私立幼稚園及び保育所（園）の幼児教育の核となり、研究・研修とともに推進し、幼児教育の充実及び子育て支援の充実が図れるよう支援していきます。

折しも、平成 23 年 7 月に示された、国の「子ども・子育て新システムに関する中間とりまとめについて」では、すべての子ども・子育て家庭を社会全体で支えるための仕組みを構築することを目的として、子ども・子育て新システムの給付設計や幼保一体化を中心とした制度設計が示されました。今後は、こうした国の動向を見極めながら、柔軟に対応していく必要があります。そのうえで、乳幼児期からの発達を踏まえた幼児教育の研究を進め、家庭や地域とも連携を強化し、幼児教育の充実に取り組んでいきます。



# 資 料

## 1. 枚方市立幼稚園の状況

### (1) これまでの経緯

大正 15 年	枚方婦人会によって私立枚方幼稚園を大字三矢に設立
昭和 12 年	私立枚方幼稚園を枚方町立枚方幼稚園とする
昭和 42 年～	順次市立幼稚園設置（5歳児1年保育実施）＜17園＞
昭和 63 年	枚方・高陵・香里幼稚園にて2年保育試行
平成 5 年	枚方市立幼稚園問題協議会の報告 殿山第一幼稚園を統廃合＜16園＞ 全市立幼稚園で2年保育実施
平成 15 年	山田・春日・招提・山之上・明倫幼稚園を廃止 ＜11園＞
平成 21 年	枚方市幼児教育ビジョン策定

### (2) 施設状況

	幼稚園名	建築年	小学校との 位置関係	保育 室 数	敷地面積	駐車 スペース
北部エリア	樟葉	S 42	別校門 (隣接)	4	1,586 m <sup>2</sup>	—
	樟葉南	S 50	別校門 (隣接)	4	1,875 m <sup>2</sup>	—
	殿山第二	S 44	同一校門	4	1,980 m <sup>2</sup>	—
中部エリア	高陵	S 43	別校門 (隣接)	4	2,561 m <sup>2</sup>	有
	桜丘	S 47	別校門 (非隣接)	4	2,071 m <sup>2</sup>	—
南部エリア	枚方	S 42	別校門 (非隣接)	6	2,959 m <sup>2</sup>	有
	香里	S 42	同一校門	4	5,486 m <sup>2</sup>	—
	蹉跎	S 45	別校門 (非隣接)	4	2,573 m <sup>2</sup>	—
	蹉跎西	S 50	別校門 (隣接)	2	1,940 m <sup>2</sup>	—
東部エリア	津田	S 49	別校門 (隣接)	2	2,603 m <sup>2</sup>	—
	田口山	S 51	別校門 (非隣接)	4	3,285 m <sup>2</sup>	—

## 2. 枚方市内幼稚園・保育所（園）の位置



### 北部エリア

<p>&lt;幼稚園&gt; 10 園</p> <p>(公) 樟葉 (公) 殿山第二 (公) 樟葉南</p> <p>(私) 牧野 (私) 清香学園 (私) うらら (私) くずはローズ (私) 第2ローズ (私) 報徳 (私) くずは青葉</p>	<p>&lt;保育所（園）&gt; 12 か所</p> <p>(公) 阪 (公) 北牧野 (公) 楠葉野</p> <p>(私) 招提 (私) 第二徳風 (私) 船橋 (私) くずは光の子 (私) 樋之上 (私) くずはあけぼの (私) 牧野 (私) ハレルヤ (私) 宇山光の子</p>
---	---

### 東部エリア

<p>&lt;幼稚園&gt; 7 園</p> <p>(公) 津田 (公) 田口山</p> <p>(私) 明善 (私) 春日丘 (私) 春日東野 (私) 長尾 (私) 鴻池学園第三</p>	<p>&lt;保育所（園）&gt; 12 か所</p> <p>(公) 菅原</p> <p>(私) 津田 (私) 明善 (私) 徳風 (私) 氷室 (私) 長尾 (私) 光の峰 (私) まりも (私) 第二光の峰 (私) 第2長尾 (私) マツガ (私) 明善第式</p>
---	---

### 中部エリア

<p>&lt;幼稚園&gt; 6 園</p> <p>(公) 高陵 (公) 桜丘</p> <p>(私) 浄 (私) 鴻池学園第二 (私) 敬応学園 (私) 楠京阪</p>	<p>&lt;保育所（園）&gt; 14 か所</p> <p>(公) 山田 (公) 中宮 (公) 小倉 (公) 禁野 (公) 渚 (公) 宮之阪 (公) 桜丘北 (公) 渚西</p> <p>(私) 村野 (私) ギンガ (私) 青桐 (私) 天の川 (私) 枚方たんぼぼ (私) つくし</p>
--	---

### 南部エリア

<p>&lt;幼稚園&gt; 7 園</p> <p>(公) 枚方 (公) 香里 (公) 蹉跎 (公) 蹉跎西</p> <p>(私) うみのほし (私) 勝山愛和香里ヶ丘 (私) 東香里丘</p>	<p>&lt;保育所（園）&gt; 17 か所</p> <p>(公) 香里団地 (公) 枚方 (公) 蹉跎 (公) 藤田川 (公) 走谷</p> <p>(私) 香里ヶ丘 (私) 常称寺 (私) 茄子作 (私) 香里敬愛 (私) 香里ヶ丘愛児園 (私) 光善寺 (私) 鷹塚山 (私) 親愛 (私) 川越 (私) 中振敬愛 (私) 三矢ゆりかご (私) 愛和</p>
---	--

### 3. 枚方市幼児数

#### (1) 市内幼児数及び幼稚園・保育所（園）における就園児数の状況

(単位：人)

幼児数	園数	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
		人数	割合												
		3,477		3,610		3,760		3,811		3,790		3,758		22,206	
幼稚園	市立	11	-	-	-	-	-	-	-	404	10.7%	453	12.1%	857	
	私立	19	-	-	-	-	-	1,625	42.6%	1,688	44.5%	1,699	45.2%	5,012	
	小計	30	-	-	-	-	-	1,625	42.6%	2,092	55.2%	2,152	57.3%	5,869	
保育所	市立	17	108	3.1%	254	7.0%	314	8.4%	363	9.5%	383	10.1%	362	9.6%	1,784
	私立	38	257	7.4%	745	20.6%	867	23.1%	905	23.7%	928	24.5%	884	23.5%	4,586
	小計	55	365	10.5%	999	27.7%	1,181	31.4%	1,268	33.3%	1,311	34.6%	1,246	33.2%	6,370
合計	85	365	10.5%	999	27.7%	1,181	31.4%	2,893	75.9%	3,403	89.8%	3,398	90.4%	12,239	

※幼稚園：H23.5.1現在、保育所（園）H23.4.1現在。

※私立幼稚園園児数は枚方市内在住の園児のみ（他市園在園児は除く）。

#### (2) 枚方市立幼稚園の過去5年間における在園児数等の推移（エリア別）

エリア	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成23年度と平成19年度の比較	
	在園児数	在園児率	在園児数	在園児率								
北部	285人	67.9%	266人	63.3%	250人	59.5%	221人	52.6%	232人	55.2%	▲53人	▲12.7ポイント
中部	174人	62.1%	172人	61.4%	153人	54.6%	140人	50.0%	125人	44.6%	▲49人	▲17.5ポイント
南部	396人	80.8%	405人	82.7%	384人	78.4%	373人	76.1%	374人	76.3%	▲22人	▲4.5ポイント
東部	194人	92.4%	171人	81.4%	160人	76.2%	141人	67.1%	126人	60.0%	▲68人	▲32.4ポイント

#### (3) 枚方市エリア別幼児（4・5歳児）幼稚園・保育所（園）定員と年度別幼児人口の推移

(単位：人)

	4・5歳児定員【H23】		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	幼稚園	保育所（園）					
北部エリア	2,472		1,568	1,604	1,534	1,519	1,488
	1,945	527					
中部エリア	1,782		1,509	1,552	1,685	1,663	1,565
	1,190	592					
南部エリア	2,312		2,574	2,659	2,631	2,509	2,419
	1,560	752					
東部エリア	2,368		1,897	1,786	1,721	1,679	1,615
	1,830	538					
合計	8,934		7,548	7,601	7,571	7,370	7,087
	6,525	2,409					

※各エリア定員：平成23年度公私立幼稚園及び保育所（園）の4・5歳児クラス定員の各エリア内合計

(4) 歳児別定員の状況及び平均在園児数

(単位：人)

エリア	幼稚園名	歳児別定員	H15～H23 の平均在園児数		
			4 歳	5 歳	合 計
北 部	樟葉	70	56.0	61.4	117.4
	樟葉南	70	48.7	54.3	103.0
	殿山第二	70	34.9	38.3	73.2
中 部	高陵	70	46.8	52.1	98.9
	桜丘	70	40.8	46.0	86.8
南 部	枚方	70	49.8	58.3	108.1
	香里	70	59.5	65.1	124.6
	蹉跎	70	48.5	52.8	101.3
	蹉跎西	35	34.6	34.8	69.4
東 部	津田	35	29.1	31.8	60.9
	田口山	70	56.5	61.8	118.3

(5) 各市立幼稚園の入園児数の推移

各年度5月1日現在

幼稚園名	内訳	定員	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			
			クラス数	在園児数	在園児率	クラス数	在園児数	在園児率	クラス数	在園児数	在園児率	クラス数	在園児数	在園児率																
北部エリア	樟葉	4歳児	70	2	70	100.0%	2	66	94.3%	2	58	82.9%	2	69	98.6%	2	46	65.7%	2	59	84.3%	2	46	65.7%	2	50	71.4%	2	40	57.1%
		5歳児	70	2	70	100.0%	2	70	100.0%	2	70	100.0%	2	58	82.9%	2	70	100.0%	2	52	74.3%	2	68	97.1%	2	43	61.4%	2	51	72.9%
		合計	140	4	140	100.0%	4	136	97.1%	4	128	91.4%	4	127	90.7%	4	116	82.9%	4	111	79.3%	4	114	81.4%	4	93	66.4%	4	91	65.0%
	樟葉南	4歳児	70	2	65	92.9%	2	64	91.4%	2	57	81.4%	2	49	70.0%	2	49	70.0%	2	41	58.6%	2	38	54.3%	2	36	51.4%	2	39	55.7%
		5歳児	70	2	70	100.0%	2	70	100.0%	2	67	95.7%	2	56	80.0%	2	48	68.6%	2	54	77.1%	2	45	64.3%	2	40	57.1%	2	39	55.7%
		合計	140	4	135	96.4%	4	134	95.7%	4	124	88.6%	4	105	75.0%	4	97	69.3%	4	95	67.9%	4	83	59.3%	4	76	54.3%	4	78	55.7%
	殿山第二	4歳児	70	2	51	72.9%	2	44	62.9%	2	37	52.9%	2	40	57.1%	1	31	44.3%	1	28	40.0%	1	25	35.7%	1	24	34.3%	1	35	50.0%
		5歳児	70	2	45	64.3%	2	56	80.0%	2	51	72.9%	2	37	52.9%	2	41	58.6%	1	32	45.7%	1	28	40.0%	1	28	40.0%	1	28	40.0%
		合計	140	4	96	68.6%	4	100	71.4%	4	88	62.9%	4	77	55.0%	3	72	51.4%	2	60	42.9%	2	53	37.9%	2	52	37.1%	2	63	45.0%
中部エリア	高陵	4歳児	70	2	67	95.7%	2	69	98.6%	2	51	72.9%	2	48	68.6%	2	40	57.1%	2	48	68.6%	2	32	45.7%	2	35	50.0%	1	31	44.3%
		5歳児	70	3	73	104.3%	2	65	92.9%	2	65	92.9%	2	52	74.3%	2	48	68.6%	2	43	61.4%	2	50	71.4%	1	33	47.1%	2	40	57.1%
		合計	140	5	140	100.0%	4	134	95.7%	4	116	82.9%	4	100	71.4%	4	88	62.9%	4	91	65.0%	4	82	58.6%	3	68	48.6%	3	71	50.7%
	桜丘	4歳児	70	2	66	94.3%	2	42	60.0%	2	52	74.3%	2	41	58.6%	2	46	65.7%	1	30	42.9%	2	38	54.3%	1	31	44.3%	1	21	30.0%
		5歳児	70	2	54	77.1%	2	70	100.0%	2	40	57.1%	2	52	74.3%	2	40	57.1%	2	51	72.9%	1	33	47.1%	2	41	58.6%	1	33	47.1%
		合計	140	4	120	85.7%	4	112	80.0%	4	92	65.7%	4	93	66.4%	4	86	61.4%	3	81	57.9%	3	71	50.7%	3	72	51.4%	2	54	38.6%
南部エリア	枚方	4歳児	70	2	69	98.6%	2	54	77.1%	2	58	82.9%	2	46	65.7%	2	53	75.7%	2	39	55.7%	2	44	62.9%	2	53	75.7%	1	32	45.7%
		5歳児	70	2	70	100.0%	2	70	100.0%	2	61	87.1%	2	60	85.7%	2	51	72.9%	2	63	90.0%	2	49	70.0%	2	47	67.1%	2	53	75.7%
		合計	140	4	139	99.3%	4	124	88.6%	4	119	85.0%	4	106	75.7%	4	104	74.3%	4	102	72.9%	4	93	66.4%	4	100	71.4%	3	85	60.7%
	香里	4歳児	70	2	66	94.3%	2	61	87.1%	2	67	95.7%	2	61	87.1%	2	61	87.1%	2	63	90.0%	2	47	67.1%	2	59	84.3%	2	50	71.4%
		5歳児	70	2	71	101.4%	2	70	100.0%	2	63	90.0%	2	67	95.7%	2	70	100.0%	2	64	91.4%	2	66	94.3%	2	48	68.6%	2	67	95.7%
		合計	140	4	137	97.9%	4	131	93.6%	4	130	92.9%	4	128	91.4%	4	131	93.6%	4	127	90.7%	4	113	80.7%	4	107	76.4%	4	117	83.6%
	蹠陀	4歳児	70	2	47	67.1%	1	40	57.1%	2	58	82.9%	2	40	57.1%	2	46	65.7%	2	57	81.4%	2	55	78.6%	2	41	58.6%	2	53	75.7%
		5歳児	70	2	62	88.6%	2	54	77.1%	2	41	58.6%	2	65	92.9%	2	47	67.1%	2	49	70.0%	2	57	81.4%	2	56	80.0%	2	44	62.9%
		合計	140	4	109	77.9%	3	94	67.1%	4	99	70.7%	4	105	75.0%	4	93	66.4%	4	106	75.7%	4	112	80.0%	4	97	69.3%	4	97	69.3%
	蹠陀西	4歳児	35	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	32	91.4%	1	34	97.1%	1	35	100.0%	1	31	88.6%	1	35	100.0%	1	40	100.0%
		5歳児	35	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	34	97.1%	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	34	97.1%	1	35	100.0%
		合計	70	2	70	100.0%	2	70	100.0%	2	70	100.0%	2	67	95.7%	2	68	97.1%	2	70	100.0%	2	66	94.3%	2	69	98.6%	2	75	100.0%
東部エリア	津田	4歳児	35	1	35	100.0%	1	34	97.1%	1	33	94.3%	1	24	68.6%	1	30	85.7%	1	24	68.6%	1	29	82.9%	1	19	54.3%	1	34	97.1%
		5歳児	35	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	35	100.0%	1	31	88.6%	1	25	71.4%	1	33	94.3%	1	22	62.9%
		合計	70	2	70	100.0%	2	69	98.6%	2	68	97.1%	2	59	84.3%	2	65	92.9%	2	55	78.6%	2	54	77.1%	2	52	74.3%	2	56	80.0%
	田口山	4歳児	70	2	70	100.0%	2	70	100.0%	2	67	95.7%	2	70	100.0%	2	59	84.3%	2	56	80.0%	2	46	65.7%	2	42	60.0%	1	29	41.4%
		5歳児	70	2	70	100.0%	2	70	100.0%	2	70	100.0%	2	68	97.1%	2	70	100.0%	2	60	85.7%	2	60	85.7%	2	47	67.1%	2	41	58.6%
		合計	140	4	140	100.0%	4	140	100.0%	4	137	97.9%	4	138	98.6%	4	129	92.1%	4	116	82.9%	4	106	75.7%	4	89	63.6%	3	70	50.0%
4歳児 合計		700	20	641	91.6%	19	579	82.7%	20	573	81.9%	20	520	74.3%	19	495	70.7%	18	480	68.6%	19	431	61.6%	18	425	60.7%	15	404	57.3%	
5歳児 合計		700	21	655	93.6%	20	665	95.0%	20	598	85.4%	20	585	83.6%	20	554	79.1%	19	534	76.3%	18	516	73.7%	18	450	64.3%	18	453	64.7%	
総合計		1,400	41	1,296	92.6%	39	1,244	88.9%	40	1,171	83.6%	40	1,105	78.9%	39	1,049	74.9%	37	1,014	72.4%	37	947	67.6%	36	875	62.5%	33	857	61.0%	

※クラス数は4月8日時点の園児数により決定したもの。

※平成23年度の蹠陀西幼稚園（4歳児）については「平成23年度における枚方市立幼稚園の定員に関する特別措置規則」を制定し、定員を40名とする。

